

福祉のまちづくり 事例集

新宮町生活支援体制整備事業



令和5年3月発行

目次

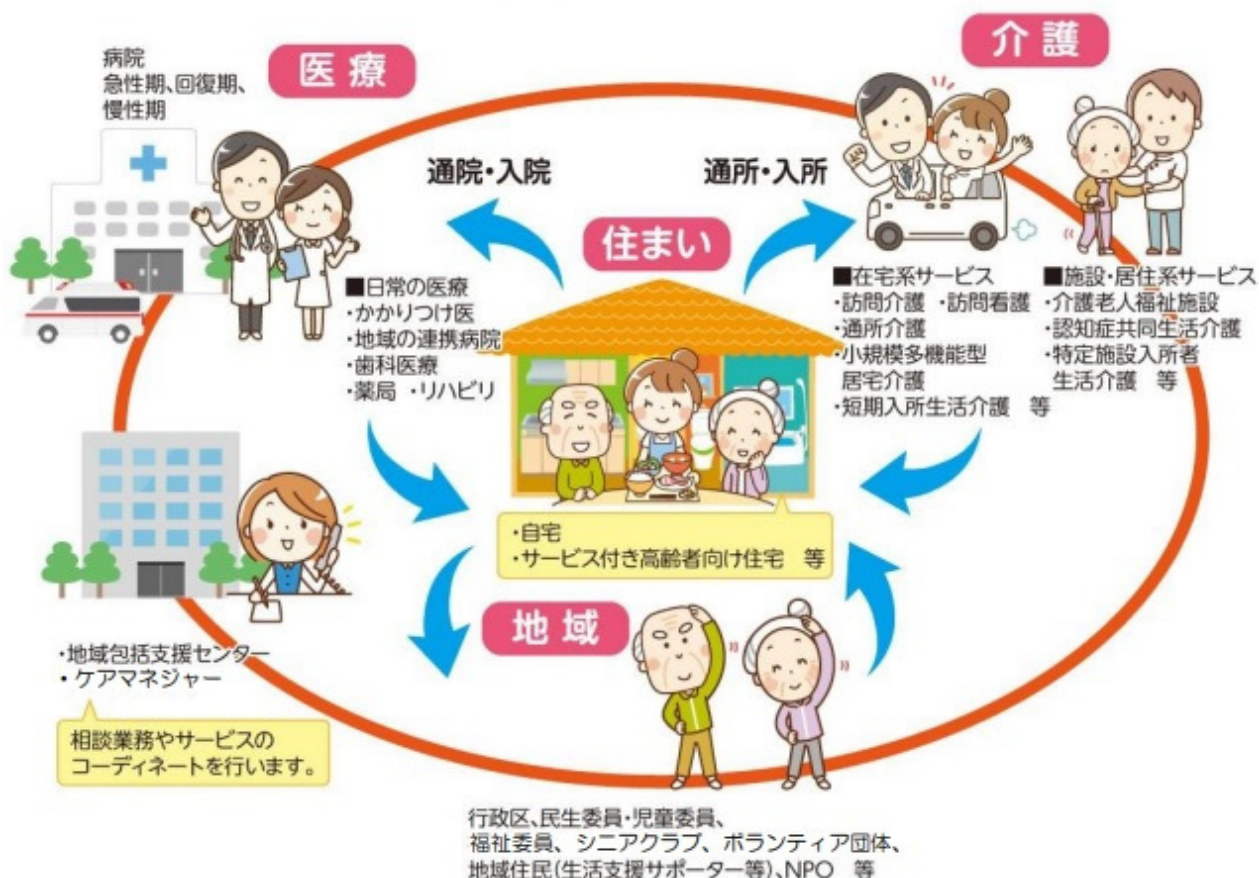
1		はじめに
2		しんぐるっとヒストリー
3		3つのヒント
4		ヒント1
7		ヒント2
12		ヒント3
15		モデル事業について

はじめに

「福祉のまちづくり事例集」の作成にあたって（背景）

介護保険制度が改正（平成27年4月～）され、高齢者のみならず、障がいのある人や子ども等、誰もが住みなれた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、さまざまな立場の人が共に助け合い、支え合う仕組み（地域包括ケアシステム）を整え、地域共生社会（世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会）の実現に向けた取り組みが進められています。

新宮町地域包括ケアシステムの姿



新宮町では、平成29年度より「協議体」（愛称：しんぐるっと）を設置し、地域の課題や特徴を把握しながら、これからの新宮町の助け合い・支え合いのためにできること等を地域住民やボランティアをはじめ、医療介護関係者、町内事業所等と一緒に話し合ってきました。

これまでの動き

協議体（しんぐるっと）～しんぐるっとヒストリー～

- ・平成28年 協議体立ち上げに向けて準備。
住民向け交流会等を実施。
 - ・平成29年 協議体発足。愛称は「しんぐるっと」に決定。
居場所づくりやボランティア育成、情報発信などについて協議。
 - ・平成30年 地域で安心して暮らすために、サービス情報を収集し取りまとめた「地域生活情報マップ」を作成。
 - ・平成31年 「地域座談会」から見えて来た課題から3つの班に分かれ、各
令和元年 班の参加者が選んだテーマに沿って検討。
検討を進める中で、考えるだけでなく実際にやってみようと、テスト的に実施（検証）も行う。
- ↓
- ・令和4年 各班で検討した内容のまとめを行う。

用語解説

「地域生活情報マップ」

高齢者が地域で安心して暮らして行くにあたり、日常生活において便利なサービスの情報を収集し取りまとめたマップ。



「地域座談会」

地域の良いところや特徴、困りごと、課題を把握するための話し合い。全行政区を対象に座談会形式で実施。社会福祉協議会職員と行政職員で訪問し、住民の参加者とともに話し合いを行う。



3つのヒント

平成31年（令和元年）からの「しんぐるっと」において、助け合い・支え合いのためにできることを話し合うため、3つのグループに分かれて話し合いを行ってきました。

今回はその3つのグループで話し合ってきたことを一つにまとめました。皆さんの地域での活動のヒントとなることを期待しています。

ヒント 1

男性の地域への社会参加をすすめたい

ヒント 2

公民館以外に気軽に集まれる場所を
発見しよう！考えよう！

ヒント 3

〇〇名人発掘プロジェクト

ヒント1

男性の地域への 社会参加をすすめたい

きっかけ

【地域の課題】

- ・生活上のちょっとした困りごと（ゴミ出しなど）のお手伝いがあるといいな。（生活支援があるといいな。）
 - お手伝いしてくれる人がいるかな（人材不足）
 - 地域のボランティア活動など、男性の参加が特に少ないな、

【しんぐるっとで話し合ったこと】

- ・ 仕事で培ってきたスキルを持っている人もいるはず!!
それって地域の人財だよね!!
 - どうしたら地域に目を向けてもらえるかな？



**男性が興味のあるような
内容をテーマにした
地域カフェをやってみよう!!**

ヒント1

テーマ型地域カフェに関する検証

テーマ：自分たちの住んでいる地域の歴史

日にち：令和4年7月23日（土）

時 間：13：15～14：45（90分）

場 所：公民館（検証は夜臼1区公民館）

対 象：夜臼1区にお住まいの方

参加費：無料

内 容：カフェのような雰囲気でお茶やコーヒーを楽しみながら、夜臼の歴史について詳しい町内在住の人の話をきっかけに、参加者同士で楽しく団らん。

協 力：傾聴ボランティア「そら」

周 知：チラシを作成し回覧

備品等：机、イス、マイク（公民館より借用）
プロジェクター、スクリーン（社協備品）

しんぐろつと歴史カフェ
古代、夜臼は海だった？
～我が地域の昔と今 夜臼編～

自分たちが住んでいる所が昔はどんなだったかな？とご興味ありませんか？
夜臼の歴史を町内在住の詳しい人がお話しします。美味しいお茶や珈琲を飲みながら楽しく語らって頂ければと思います。

美味い珈琲 飲みに来てね！

今から4000年前程、夜臼地区にも縄文人が住んでいました。貝塚(魚の骨や貝の殻を捨てた)から、縄文時代の土器などの、もみ殻が付いた土器が発掘されたのです！これは「米作りは弥生時代から始まった」という定説を変える大きな証拠になり、『夜臼式土器』と名付けられ教科書に載りました。

出典：楽しく学ぶ昔と今 わたしたちの町 新宮

■日時/令和4年7月23日(土)13：15～14：45
■場所/夜臼1区公民館(夜臼6丁目1-13)
■参加費/無料 お気軽にどうぞ！
■主催/しんぐろつとココロちゃん班
■協力/夜臼1区 傾聴ボランティア「そら」
■問合せ/新宮町福祉センター ☎092-710-8286

(回覧チラシ)

参加者

19名
(内 男性8名)



検証から見えてきたこと

よかったこと

- ・自分の住んでいる地域をテーマにしたものは興味を引く。
- ・興味があって参加をした人達同士話がはずむ。
- ・初めに誰かに話してもらうことで、参加者が話しやすい雰囲気になる。
- ・参加者にテーマを投げかけて話しを進めてもいいかも。
- ・キャッチコピーは大切。(目を引くもの)
- ・プロジェクターを使い、写真など視覚化できて分かりやすい。
- ・雰囲気作りは大切。(カフェでのんびり)
- ・普段のサロンとは違うメンバーの参加があった。(新しい出会い)

気を付けること

- ・参加者同士が話し、繋がるきっかけの時間を確保することが大切。
- ・案内の仕方、チラシの内容で講座だと勘違いした人がいた。
- ・机のレイアウト次第で授業や講義のように見える。(小さいグループをいくつか作ると参加者が話しやすいのでは。)
- ・回覧版は男性が見ていない場合もある。
- ・カフェ形式(飲み物などの提供)の時は参加費も考えておくといいのでは。
- ・次に繋がるようなアンケートを作成するといいのでは。(次回のテーマ案や可能であれば連絡先まで。)

その他 (しんぐるっから)

こんなのはどう？

- ・回覧版以外に区内放送を活用。
- ・事前に地域から関心のあるテーマについて情報収集。
- ・地域の行事と併せて開催。(行事の参加者をサロンへ)
- ・テーマ型地域カフェのテーマは自由自在。
例) 畑、夜のサロン、歴史、終活、スマホの使い方、料理など。
- ・複数のテーマを掛け合わせる方法も。

万人にヒットすることは難しい。様々な内容で継続することが大切。

ヒント2

公民館以外に気軽に集まれる場所を発見しよう！考えよう！

きっかけ

【地域の課題】

- ・町公共機関は借りるルールが厳しく、使いにくさがある
- ・広い行政区は、線路や大きな道路を挟んでいるところもあり、公民館まで行くこと自体が大変な人もいる。
- ・交通の便が悪いところには行きにくいし、バス代を払ってまで参加する人も少ないのではないかな。

【しんぐるっとで話し合ったこと】

- ・健康状態に合った身近な居場所があれば・・・
- ・みんなが集まれるよう、お店や民家を活用できれば・・・
- ・子どもや高齢者が日常の中で、自然な交流ができる環境があれば・・・



公民館だけじゃない、もっと身近な居場所づくりを考えてみよう！

ヒント2-1

民家を活用した居場所づくり検証

日にち：令和3年10月27日（水）

時 間：10：00～11：00（60分）

場 所：相島の個人宅

対 象：相島区にお住まいの方

参加費：無料



内 容：相島の人と島外の人が、一緒にお茶を飲みながらおしゃべりを楽しみ、『他己紹介ゲーム』やレコードで懐かしの音楽を聞くなど、特別なことをするのではなく、普段と変わらない雰囲気交流する。

周 知：福祉委員による声かけ
（普段サロンに参加しない人にも）

備品等：お茶、レコードプレーヤー
低机、座布団、低いイス

参加者

15名
（メンバー含む）



ヒント2-1

検証から見えてきたこと

よかったこと

- ・参加者同士で、生の声を聞くことができる。
- ・介護保険を利用していない人の状況も見える。
- ・『他己紹介ゲーム』をすることで、より参加者同士がより親密になることができた。
- ※『他己紹介ゲーム』って？
 - ・・・自己紹介ではなく、相手（他の人）のことを紹介するゲームです。
- ・この集いに参加した相島の住民が、後日自主的に集まって交流していた。

気を付けること

- ・公民館とは違い、場所のわかりにくさがある。
- ・階段や玄関の高さなど、環境（ハード）面に注意が必要。
- ・公民館や公共機関に比べると、参加者同士の距離を確保しにくいので、感染対策への注意が必要。
- ・民家となると、不特定多数の人への声かけは、家主の気持ちを考えると負担が大きいと思われる。呼びかけは近所の人など、特定の範囲で行った方が良い。
- ・電気代もかかるので、参加費などから家主に渡した方が良い。

その他 (しんぐるっから)

- ・口コミに勝る周知はないのではないか。
 - ・1度集まったことをきっかけに、別の日に自主的な集まりが行われていた。
- 1度集まることが、別の集まりをするきっかけになった！
1つの居場所づくりが、他の居場所づくりにつながる！

ヒント2-2

企業を活用した居場所づくり検証

日にち：令和4年5月25日（水）

時 間：10：00～11：00（60分）

場 所：午前中の学習塾

対 象：しんぐるっとメンバー

参加費：無料



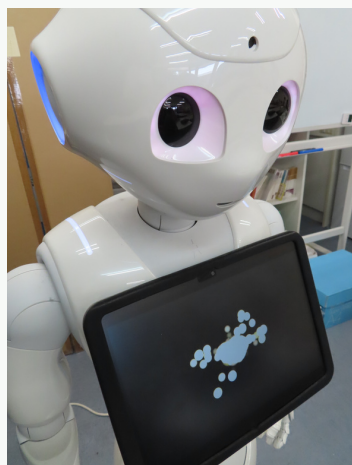
内 容：「自由に集まる場」として、特にメニューを決めることなく、来た人が自由に過ごしてもらえる場にする。
実際に他の企業へ取組を広げることを考え、企業の金銭的負担にならないう、お茶も参加者持参で。

周 知：しんぐるっとメンバーになっている
民生委員・児童委員と福祉委員

備品等：塾にある物を利用。
（机、いす、DVD、ゲーム）

参加者

7名
（メンバー含む）



ペッパーのお出迎え



検証から見えてきたこと

よかったこと

- ・塾という環境で、若返った気がした。
- ・「勉強したい」という気持ちを思い出した。
- ・町内には他にも塾は存在しているので、モデル的に検証できたことで、他の塾へ提案する足掛かりになったのではないかな。
- ・ペッパーもいて、頭を使うゲーム・遊びもあった。他の人と交流しながらできるものなので良かった。
- ・午前中の塾という、新しい目線での居場所について考えることができた。他の企業や店舗でも隙間の時間を活用した取組を考えるきっかけとなった。

気を付けること

- ・経費（電気・ガス代）のことが気がかり。居場所の提供者に申し訳ない。
- 今回の検証では、居場所づくりのために空けたのではなく、普段から仕事をしている時間を使ったので問題はなかった。
「居場所づくりのために開ける」となると、経費の負担は必要と考えた方が良いのではないかな。
- ・企業の想い、やりたいことに添って、地域が関わっていくことが大切ではないかな。

その他 (しんぐるっから)

- ・回覧板や広報をしっかりと見る人は見るが、それは人による。いろんな方法で周知をすることが大切。
- ・「居場所づくりをしてください」より「場所を貸してください」の方が入り込みやすいのでは。
- ・居場所づくりに取り組みたい企業への助成金などもあれば良い。

ヒント3

「〇〇名人発掘プロジェクト」

きっかけ

【地域の課題】

- ・ 個人情報の問題で地域の情報がなかなかつかめない。
- ・ 「助けて」となかなか言えない。
- ・ 今は大丈夫だが高齢になった時には不安。
- ・ 病院や買い物に行くことが大変であったり、草刈りに困っているなど、各地域共通の困りごとがある。

【しんぐるっとで話し合ったこと】

地域での困りごとをききたい。地域の人材を発掘したい。

「地域でアンケートをとってみてはどうか？」

○対象は？

- ・ ・ ・ 一人暮らしの人、65歳以上の高齢者、子育て世代 e t c

○やることによって

- ・ ・ ・ 地域の困りごと、人材の発掘にもつながる。

○アンケート後は？

- ・ ・ ・ 活動につなげていく必要がある。情報提供に利用する手も。。。



地域の方の不安、困っている事は？

地域の人材（ちから）を見つけ出そう!!

ヒント3

パークシティ区の「助っ人さん」

困っている事はなんですか？



令和3年 3月 1日
パークシティ区福祉会

パークシティ区の65歳以上の方へ

ちょっとした困りごとに関する調査ご協力をお願い

パークシティ区は、平成7年に誕生した行政区です。
10年前にくらべると、高齢化率は約12%ほど上昇し毎年高齢者数が増加しています。
年を重ねても、安心して生き生きと暮らしているパークシティ区をつくるために、パークシティ区福祉会では、ちょっとした困りごとを住民同士がお互いに助け合う区にしたいと考えています。
これからのパークシティ区のために、皆さんの「暮らしの中のちょっとした困りごと」を教えてください。

①日常生活の中で、ちょっとした困りごとはありませんか？
あてはまるものを全てに記してください。
☐ 膝の膨らむゴミ出し
☐ 月1回の分別のゴミ出し
☐ 話し相手
☐ 食料品などの買い物
☐ 電球の交換
☐ 植木の水やり
☐ 安否確認
☐ その他（ ）

②パークシティ区での助け合い活動のご負担金額はどのくらいが適当だと思いますか？
あてはまるものに記してください。
☐ 無 料
☐ 1,000円以下
☐ 1,001円以上
☐ その他（ ）

アンケートへのご協力ありがとうございます。

回答について
エントランスにアンケート回収ボックスを設置しますので
3月15日までに回答の役かみをお願いします。

手伝ってくれる人大募集

地域のちから「助っ人さん」誕生！



令和3年 3月29日
パークシティ区福祉会

パークシティ区居住者 各位

地域の助っ人さん 募集しています！

先日、パークシティ区にお住まいの65歳以上の方へ「暮らしの中のちょっとした困りごと」に関するアンケートを行いました。
その結果、膝の膨らむゴミ出し、月1回の分別ゴミ出し、話し相手、食料品などの買い物などに困っている方がいる事が分かりました。
年を重ねても安心して生き生きと暮らしているパークシティ区をつくるためには「暮らしの中のちょっとした困りごと」をお助けする「助っ人さん」を募集することにしました。
助け合い活動の負担金額などについては、後々考えていくこととして、年額に関係なくやる気のある方は、できることと連絡番号・名前を書き、ご回答をお願いします。

①日常生活の中で、ちょっとした困りごとへのお手伝いをしてもらいませんか？
できることをあてはめてください。
☐ 膝の膨らむゴミ出しのお手伝い
☐ 月1回の分別のゴミ出しのお手伝い
☐ 話し相手
☐ 食料品などの買い物のお手伝い
☐ 電球の交換
☐ 植木の水やり
☐ 安否確認
☐ その他（ ）

②特になど〇〇人ともあわせて募集しています。得意なことなど何かありましたらぜひ教えてください。 助けている方の情報もお持ちしています。
例えば～地区に詳しい、カヌー、水泳に詳しいなど。

姓 氏名

回答について
エントランスにアンケート回収ボックスを設置しますので
4月12日までに回答の役かみをお願いします。

助っ人さんお手伝いします！

先日、65歳以上の方へのちょっとした困りごとに関するアンケートの結果を受け、パークシティ区の全世帯に助っ人さんを募集したところ、ありがたいことに十数の方がご応募して下さいました。
日常生活の中でちょっとした困りごとにお手伝いを希望される方は、
号室 のポストに用紙を投函して下さい。後日詳しくお話を聞くために伺いさせていただきます。

お手伝いを希望される項目

- ☐ 膝の膨らむゴミ出しのお手伝い
☐ 月1回の分別のゴミ出しのお手伝い
☐ 話し相手
☐ 食料品などの買物のお手伝い
☐ 電球の交換
☐ 植木の水やり
☐ 安否確認
☐ その他（ ）

姓 氏名

※お手伝い希望者は、 号室 のポストまでご投函下さい。

ヒント3

検証から見えてきたこと

よかったこと

- ・「困った時に助けて貰えるとわかって心強い」と言って貰えた。
- ・地域の協力者が見つかった。
- ・すごく良いことをしているので賛同したいと言われた。同じ事を思っている人がいてうれしい。
- ・助っ人さんの活動自体が生きがいや居場所になる。
- ・助っ人さん同士で情報共有ができた。

気を付けること

- ・「助けて」の声がなかなか上がらない。言いにくいのかもかもしれない。
→言えるような雰囲気づくりが必要。
- ・活動することにより信頼関係ができれば、新たなニーズが出てくる可能性がある。
- ・情報発信は大切。手伝って欲しいことを具体的に発信することも人材発掘につながるのではないかな。
- ・無料だとサービスを利用するのに躊躇してしまう。遠慮なく頼めるように利用料金決めたほうがいいかも。

その他 (しんぐるっところから)

- ・アンケートを取ったことにより特技を持っている人（人材発掘）につながった。
- ・特技と聞いてもなかなか手を挙げないが、趣味はと聞くと答えてくれるのではないかな。
- ・ボランティアをする人自身も楽しむことも大事。それが続けていくコツではないかな。また、それを発信していくことも重要。
- ・自分からは声を上げないが、声を掛ければ手伝ってくれる人は多いかも。そうした人をどのようにしてうまく見つけることができるかが、地域の人材発掘につながる。

モデル事業について

皆さんの地域（行政区）でもやってみませんか？

新宮町社会福祉協議会では、「福祉のまちづくり事例集」をヒントに、助け合い・支え合いのために自分たちの地域でも「やってみたい」と考えている行政区福祉会を応援します！

実際に、社会福祉協議会生活支援コーディネーター（SC）が地域を訪問し、実施に向けてお手伝いします。

助成金額

3万円

令和5年度は
3地区^{程度}
募集します

対象となる活動

（高齢者だけでなく、障がいのある人や子どもなどを含め）住民の孤立化を防ぐ交流の場づくりや、助け合い・支え合いの仕組みづくりに取り組む活動。
例）

- ・「公民館以外にも気軽に集まれる居場所づくりをつくる取り組み」
- ・「男性の孤立化を防ぎ、地域への社会参加をすすめる取り組み」
- ・「地域でのちょっとした困りごとを住民同士で助け合う取り組み」など。

受付期間

～令和5年11月30日

実施期間

～令和6年3月31日

申し込み

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目3番1号 福祉センター内
社会福祉法人 新宮町社会福祉協議会

TEL: 092-963-0921

FAX: 092-963-0127

mail: shingu@deluxe.ocn.ne.jp



発 行

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜 4 丁目 3 番 1 号 福祉センター内

社会福祉法人 新宮町社会福祉協議会

TEL: 092-963-0921

FAX: 092-963-0127

mail: shingu@deluxe.ocn.ne.jp

HP : <http://www.shingu-shakyo.or.jp>



新宮町社協キャラクター
ココロちゃん